

カリキュラム・マップ

コミュニティ福祉学部の教育目的

「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という本学部の基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成する。

学修成果

<p><学部全体></p> <p>◆学部理念・目的の習得</p> <p>1. 「いのちの尊厳のために」(Vitae Dignitati)という本学部の基本理念を理解・説明することができ、実行にむけてさまざまな活動に意欲的に取り組むことができる。(「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「5.他者を理解する姿勢」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>2. 福祉社会の実現をめざした「福祉コミュニティの形成」に、市民社会の側から、生活者の視点で取り組むという本学部の基本構想・意図が説明でき、その形成に参加・協働できる。(「2.専門性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>◆知識・技術の習得</p> <p>1. 福祉コミュニティ形成に貢献できる高度のマネジメント能力、個別ニーズに沿った援助、地域福祉計画や地域組織化および社会調査などの能力を身につける。(「2.専門性」「4.キャリア展望を確立する力」「5.他者を理解する姿勢」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>2. 導入教育として実施されている基礎演習をとおして、スタディ・スキルを習得し、大学での主体的な学び方を身につける。(「1.リベラルアーツの素養」「3.自己を理解し発展させる力」「6.表現力」と関連)</p> <p>3. キャリア教育やインターンシップにおける企業系、行政系、NPO系、海外系など幅広い分野の就業体験・職場体験をつうじて机上での学びを実践的に理解する。(「2.専門性」「4.キャリア展望を確立する力」「5.他者を理解する姿勢」「8.国際性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>4. 完成期に配置されている演習科目等をとおして独自の研究能力を高め、学修成果を他者に発信することができる。(「2.専門性」「5.他者を理解する姿勢」と関連)</p> <p>5. 全学共通科目と専攻分野の科目を統合的に学修することによって、国際感覚を具えた「専門性に立つ教養人」を育成する。(「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「8.国際性」と関連)</p>	<p>◆現場に立った実地学習の習熟</p> <p>フィールド型学習(福祉学科：ソーシャルワーク実習、キャリア形成演習、コミュニティ政策学科：コミュニティ学演習、政策学演習、社会調査実習、そして各学科で履修できるインターンシップ)等を通して、現場に立った体験的な学習能力を身につける。(「2.専門性」「4.キャリア展望を確立する力」「6.表現力」「7.リーダーシップ」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>◆実践能力と研究能力の統合</p> <p>人間と社会に関わる総合学であるコミュニティ福祉学において、フィールドに赴いて生身の人々の抱える苦難や困難を想像・感受する力を養い、それらの苦難や困難を克服・解決する上での指針となる理論を習得することができる。(「2.専門性」「3.自己を理解し発展させる力」「5.他者を理解する姿勢」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p><福祉学科></p> <p>1) 専門的対人援助職であるソーシャルワーカーに必要な「理論・制度・サービスの理解」、「援助の方法・技術の理解」及び両者を統合する場としての「演習・実習による理解」に対応した知識・技術を総合的に習得する。(「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「3.自己を理解し発展させる力」「5.他者を理解する姿勢」と関連)</p> <p>2) 福祉実習関連科目などの学びを踏まえて、現場実習というフィールドワーク、臨床の現場での実践に結び付けることができる実践能力を習得する。(「2.専門性」「6.表現力」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>3) 国家試験指定科目および「ソーシャルワーク実習」などを履修し、学修成果として「社会福祉士」の国家試験の受験資格を取得することができる。(「2.専門性」「4.キャリア展望を確立する力」「7.リーダーシップ」と関連)</p>
---	--

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム

コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連
(◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連								
				1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6) 福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付ける能力の習得	7) 社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等を得ることができる		
基礎演習	専門必修科目	1	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得する。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考えることができる。	◎	◎							
社会福祉の原理と政策1	専門必修科目	1	現代社会における福祉制度の意義や理念等と福祉政策との関係を理解し、社会福祉の基底に存在する原理や哲学と福祉制度の具体的な課題を関連づけて考察することができる。	◎	◎		○					○
社会福祉入門演習	専門必修科目	1	社会福祉の様々な分野について基本的な理解を進め、2年次、3年次に展開する領域別学習・実習について予備知識を得る。さらに、自身のキャリアについて考えることができる。	◎	◎				◎			
社会問題のインターセクショナリティ	専門必修科目	2	現代社会に生起する諸事象をフィールド実践をもとに批判的に捉え返し、今日的課題としての倫理・社会正義・公平性等を自ら考察する力を修得することができる。	◎	○	○	◎					
ソーシャルワーク演習	専門応用科目	2~4	社会福祉専門職として必要な視点や原則、姿勢・態度について理解を深め、援助技術の基礎を身に付けることができる。実践現場で展開している様々な実践活動に参加し、その経験から自らの視点を形成することができる。現場で起こる諸課題を理解し、これを知識として組織化することができる。	◎	○	◎	◎	△	△			◎
社会福祉調査の基礎	専門応用科目	2~4	社会福祉が対象とする社会問題・生活問題に関わる調査の意義・背景・方法を学び、基本的知識の習得ができる。		○	◎	○					
情報処理1	専門基礎科目	1~4	情報処理の基本的な考え方や原理原則、及び基礎的パソコン操作、そして実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎							
情報処理2	専門基礎科目	1~4	情報処理における「情報発信」の基本的な考え方や、効果的な表現、及び実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎							
グローバル社会で活躍するための英語(福祉系)	専門応用科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、国際団体など)	○	◎	◎						
ノーマライゼーション論	専門基礎科目	1~4	ノーマライゼーション原理誕生と発展プロセスを取り上げ、この原理を具現化するためにはどうしたらよいかを検討することができる。	◎								
社会福祉とキャリア形成	専門基礎科目	1~4	児童、障害、高齢、地域、精神、医療のソーシャルワーカーの領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎						△
異文化スタディ	専門基礎科目	1~4	海外の社会問題や社会活動の事例、国内の「内なる異文化」に関する事例に関する知識を修得し、国際的な場で活躍するために必要なコミュニケーション能力を高めることができる。	◎	◎	△	△					
人権論	専門応用科目	2~4	私達の身近に存在しているにもかかわらず気づかない関係ない難しいものと考えてしまう人権について弁護士の活動を通じて具体的な事例で認識し理解し考えることができる。	◎			○					
福祉文化論	専門応用科目	2~4	福祉文化とは何かを探究する。福祉文化の挑戦的な可能性に思いを馳せながらワクワクするような福祉文化実践に触れ、感じた事を表現し合う場を創出することができる。	◎								
社会保障総論	専門基礎科目	1~4	社会保障の概念やわが国の社会保障制度の概要を理解し、医療保険及び介護保険を通じて、社会保険に関する基礎知識を身につけることができる。	○			◎					○
ジェンダーとセクシャリティ入門	専門応用科目	2~4	ジェンダー概念を基礎にして、「みようとしなければみえないものを見る力」を各自が醸成すること、自分の可能性を広げることができる。	○	○		◎					
障害学入門	専門応用科目	2~4	障害という様々な身体的特質を持つ人々と、彼らに関わる人たちの話を聞き、その出会いを通じて想像力と可能性を広げ養うことができる。	◎		△	○					
社会福祉発達史1	専門応用科目	2~4	ヨーロッパやアメリカにおける社会福祉の発達史を学ぶことによって、社会福祉とは何かということを理論的に学習し、視点や枠組みを獲得することができる。	○			◎					
社会福祉発達史2	専門応用科目	2~4	日本が抱える社会福祉の課題を、社会福祉のあゆみから実証的に指摘することができる。	○			◎					
現代コミュニティ福祉学特別講義(福祉系)	専門応用科目	2~4	海外からの招聘教授などが担当し、福祉、コミュニティ政策、スポーツウエルネスいずれかの分野についてグローバルな視点から各分野の最前線のトピックについて理解できる。	○	△		○					
家族をめぐる福祉問題	専門基礎科目	1~4	多様化する現代家族の態様と福祉ニーズを把握し、家族をめぐる政策動向を分析したうえで、家族福祉の必要性と展望について理解できる。			◎	○	◎	○			
ソーシャルワークの理論と方法1	専門基礎科目	1~4	ソーシャルワーク実践とは何かを理解し、「人が人を援助すること」や「生活を想像すること」などについて考える力を養成することができる。	◎	◎	◎	○	◎				◎
メンタルヘルスと福祉	専門基礎科目	1~4	精神医療の特性や精神障害者に対する支援の基本的考え方を理解することができる。	◎	◎	◎	○	◎				◎

コミュニティ福祉学部福祉学科（課程）のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6) 福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付ける能力の習得	7) 社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等取得できる
医学概論	専門応用科目	2~4	医学とはどのような学問なのか、どのような疾病があるのかを理解する。現代社会と医学との関りを自ら考える。自らの健康について考えることができる。	◎	○			◎	△	◎
ソーシャルワークの基盤と専門職1	専門基礎科目	1~4	ソーシャルワークの目的・機能・対象・方法などを理解し、ソーシャルワークの全体像を把握できる。	○	◎	◎	◎	◎		◎
ソーシャルワークの基盤と専門職2	専門基礎科目	1~4	ソーシャルワークの主要な理論を理解し、実践への適用について理解できる。		◎	◎	◎	◎		◎
心理学理論と心理的支援	専門応用科目	2~4	成長と発達についての心理学理論を理解し、カウンセリングの手法について理解できる。		◎	◎	◎			○
社会理論と社会システム	専門応用科目	2~4	現代社会の法・経済と社会システムについての理解、生活の理解、人と社会の関係、そして社会問題の捉え方などについて理解し、考察できる。		◎			◎		◎
ソーシャルワーク演習(専門)1	専門応用科目	2~4	社会福祉専門職として、必要な視点や原則、姿勢・態度について理解し、援助技術の基礎を身に付けることができる。また、事例当の活用をとおして、より具体的な相談援助場面や地域福祉の実践過程を想定し、総合的かつ包括的な援助技術および地域福祉の基盤整備と開発について理解を深める。	◎	◎	◎	○	◎	○	◎
児童福祉論	専門基礎科目	1~4	児童福祉の法・制度、理論、実践、諸条件などを子どもや家族の現実などの具体例を紹介するなかで学び、わが国の当面する児童福祉の課題を理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	○	◎
子ども理解と子育て支援論	専門応用科目	2~4	児童福祉分野、とくに施設における実践のあり方、実践の基本を理解することができる。	◎	◎	◎	◎		◎	
貧困に対する支援	専門応用科目	2~4	公的扶助の最近の動向及び現実的課題などを紹介し、最低生活保障における経済給付と自立に向けた社会福祉援助・支援活動を理解することができる。	◎	◎	○		◎	○	◎
高齢者福祉論	専門基礎科目	1~4	我が国が直面する超高齢社会のあり様を知り、社会問題、家庭問題としての高齢者問題について正確に把握し、誰にでも訪れる老いを理解できる。また、高齢者福祉の法、制度、理論について修得する。	◎	◎	△	○	◎	○	◎
高齢者福祉実践論	専門応用科目	2~4	実際に高齢者福祉の現場で取り入れられているケアの手法や理論を具体的に学び、現場での福祉実践のあり方を理解することができる。	◎	△	◎	○	◎	◎	
障害者福祉論	専門基礎科目	1~4	知的障害者・身体障害者・精神障害者に対する支援と障害者自立支援制度の枠組みを学び、支援のあり方と制度との関係、実態と課題を理解することができる。	◎	◎		○	◎	◎	◎
地域福祉論1	専門応用科目	2~4	超高齢社会・少子社会・人口減少社会・多文化社会の進行と地域福祉課題の推移を理解するとともに、地域福	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
地域福祉論2	専門応用科目	2~4	地域福祉の理論と方法について、多角的・構造的に理解を深めるとともに地域包括ケアの展開を理解することが	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
女性福祉論	専門応用科目	2~4	性差別を基盤とした女性問題の現状を理解し、その解決に向けた社会福祉の役割を女性福祉の視点から解明する。又、支援者に必要なスキルを修得することができる。	○	○		○	◎	○	△
現代社会とケアシステム	専門基礎科目	1~4	介護現場の実践で活用されている介護技術の基本を学び、質の高いケアに関する知識と基本技術を学ぶことができる。	○	◎	◎	◎	○	○	
保健医療と福祉	専門応用科目	2~4	社会に存在したあるいは現在存在する、医療に関係する諸問題に関心を持つ。さらにその解決方法を多角的に思考できるようになる。日常的に社会問題に関心を持ち、自ら情報を収集することができる。	○	◎		○	◎		◎
発達障害支援論	専門応用科目	2~4	発達障害（児）者の障害特性に応じた環境設定や関わり方の工夫を通して、集団生活や社会生活が営めるようにするための療育方法やソーシャルスキル等の支援方法を考えることができる。		○	◎	○	◎	◎	
ソーシャルワークの理論と方法2	専門応用科目	2~4	個別支援及び面接技法等を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎		◎
ソーシャルワークの理論と方法3	専門応用科目	2~4	グループワーク・集団支援を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎		◎
ソーシャルワークの理論と方法4	専門応用科目	3~4	地域におけるネットワーキング、社会資源活用等を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎	○	◎
社会保障論	専門応用科目	2~4	わが国社会保障制度の体系を学び、年金問題を中心に、社会保障の機能や課題を理解し、今後の強靱な社会保障のあり方を考える力を身につけることができる。	○			◎			◎
Human Diversity and Social Justice in Social Work	専門応用科目	2~4	ソーシャルワークの重要な原理とされる「多様性」と「社会正義」をキーワードに、グローバルな観点から、今日的課題を英語で学ぶ。	◎	◎		○			
セルフヘルプグループ論	専門応用科目	2~4	現代社会で増加傾向にある人間関係障害との関係性を考察しながら、当事者グループのあり方について理解することができる。	◎	◎	○	△	○	○	◎
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(福祉系)	専門応用科目	2~4	海外留学や海外インターンシップを検討している人に対して、その準備を行う。福祉の分野を学べる海外の大学の紹介とその準備のために必要な英語を学ぶ。		○					
英語で学ぶ海外の福祉の現状	専門応用科目	2~4	福祉に関するトピックスを英語で学ぶ。本科目は英語を勉強する科目ではなく、英語を言語として福祉を学び、自分の意見を伝えることができる。		○					
インターンシップ	専門応用科目	3~4	学生は、実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めるとともに、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。また、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。	○	○	◎	◎	○	◎	○
ソーシャルワーク実習指導2	専門応用科目	3~4	ソーシャルワーク実習の意義について理解するとともに、相談援助に関わる知識と技能について具体的実践的に理解し、総合的に対応できる能力を習得することができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ソーシャルワーク実習	専門応用科目	3~4	ソーシャルワーク実習は、社会福祉士国家試験受験資格を取得するための24日間(180時間)の配属実習を行う。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ソーシャルワーク実習指導1	専門応用科目	2~4	ソーシャルワーク実習の具体的な体験や活動を通して得た学びを振り返り、実践と理論を統合して理解することができる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎
ソーシャルワーク演習(専門)2	専門応用科目	3~4	社会福祉援助技術現場実習において学ぶ領域やテーマを明確にし、実習領域についてさらに専門的知識を身につけることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
キャリア形成演習	専門応用科目	3~4	社会福祉関係のキャリアのみならず、広く社会で活躍できる人材として自覚し、視野を広げ学んだことを生かしつつ、自身のキャリアについて考えることができる。		○	○				
権利擁護を支える法制度	専門応用科目	3~4	人権と社会正義を基盤としたソーシャルワーク支援を行っていくのに必要な権利擁護の考え方と成年後見制度や虐待防止法など法制度と実際を理解することができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
社会福祉の原理と政策2	専門応用科目	3~4	現代社会における福祉問題を発見し、解決にむけての援助技術、福祉制度・政策を理解できる。また福祉施設・機関での福祉実践の実態を説明できる。	○	◎	○	◎	◎	◎	◎

コミュニティ福祉学部福祉学科（課程）のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6) 福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結びつける能力の習得	7) 社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等を得ることができる
福祉マネジメント論	専門応用科目	3~4	福祉サービスを提供する組織の基本的事項及びその経営と運営管理について理解することができる。	◎	○	◎	△	○	◎	○
福祉情報とICT	専門応用科目	3~4	福祉情報とは何か、その意義と利・活用について理解することができる。	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎
ケアマネジメント論	専門応用科目	3~4	ケアマネジメントの現状を把握し、利用者の力を引き出し、各種サービス提供者をコーディネートする技法を実践的に身につけることができる。	○	○	◎	◎	◎	○	
刑事司法と福祉	専門応用科目	2~4	罪を犯した者の更生と社会復帰に関する相談援助活動を、更生保護制度等を通して理解することができる。	◎	◎	△	○	△	△	◎
福祉学特論	専門応用科目	3~4	地域での障害者の自立を進める戦略であるCBR(地域に根差したリハビリテーション)から自立生活運動(IL)への変遷を考察することができる。	◎	○	◎		△	△	○
医療ソーシャルワーク実践論	専門応用科目	3~4	医療分野におけるソーシャルワークの必要性や効果を理解することができる。危機介入・システム理論などソーシャルワーク理論をどのように用いて問題解決するか、具体的な事例によって理解することができる。	○	◎	◎	○	◎		○
支援者支援論: ストレスマネジメントを学ぶ	専門応用科目	2~4	精神保健に関連する障害や疾病についての基礎知識を得る。さらに、支援の現場に従事する人々が直面する業務の困難性を構造的に理解することができる。	◎	◎		△	○	○	◎
多文化ソーシャルワーク論	専門応用科目	2~4	時代と共に変化しつつある外国籍の人々に対するソーシャルワークの取り組みの必要性と実態について、グローバルな視点を踏まえて理解を深めることができる。			◎	○	○		
ケアの倫理と社会福祉	専門応用科目	2~4	対人援助における倫理とは何かを問い、社会におけるケアや支援の基盤、自立/自律と依存及び自己責任に関わる言説、当事者の主体的地位と周囲の人々との関係性等を理解することができる。	◎			○	○		
災害福祉論	専門応用科目	2~4	災害によって要援護者をはじめ多様な主体が日常から大きく離れた困難に臨む状況に対し、社会福祉の価値観、知識、技術をどのように活かすことができるか理解するとともに、支援の展開を構想することができる。	◎	◎		◎	◎	◎	
居住福祉論	専門応用科目	2~4	社会福祉の理念を居住という観点から理解することができる。また、居住を保障する方策を社会政策やソーシャルワークの観点から考えることができる。		◎	◎		○	○	○
教育福祉論	専門応用科目	2~4	近年注目されている教育と福祉の連携・協働について理解を深め、学校や地域社会で必要とされる対人援助に関わる実践的知識・方法の学びを深める。			◎	○	○		
比較福祉国家論	専門応用科目	3~4	福祉国家の定義や成立過程、各国における発展状況等を学んだ上で、それぞれの特徴と課題を説明することができる。		◎					
社会福祉調査実践論	専門応用科目	3~4	量的調査の設計・調査票の作成・実査・分析・結果の公表などについて実践的に学び、社会福祉計画等に必要となるバックデータを作ることができるようになる	○	◎		◎		○	
卒業研究指導演習	専門応用科目	4	卒業研究の執筆・制作に関して、教員から指導・援助を受け作品を完成に向けて取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
卒業研究	専門応用科目	4	これまでの学習の総括として、自らの関心に応じてテーマを設定し研究に取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
心理学1	専門関連科目	1~4	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から考察することができる。	○			◎			◎
心理学2	専門関連科目	1~4	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について考えることができる。			○	◎			◎
生涯学習概論1	専門関連科目	1~4	生涯学習概念を社会教育との関連で把握すること、多様な学習機会に注目することによって生涯学習概念を具体的に捉えていくことができる。		◎			△		
生涯学習概論2	専門関連科目	1~4	生涯学習概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学習を具体的に理解していくことができる。		◎	△		△		
生涯学習支援論1	専門関連科目	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△		
生涯学習支援論2	専門関連科目	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△		
社会教育経営論1	専門関連科目	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△		
社会教育経営論2	専門関連科目	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△		